

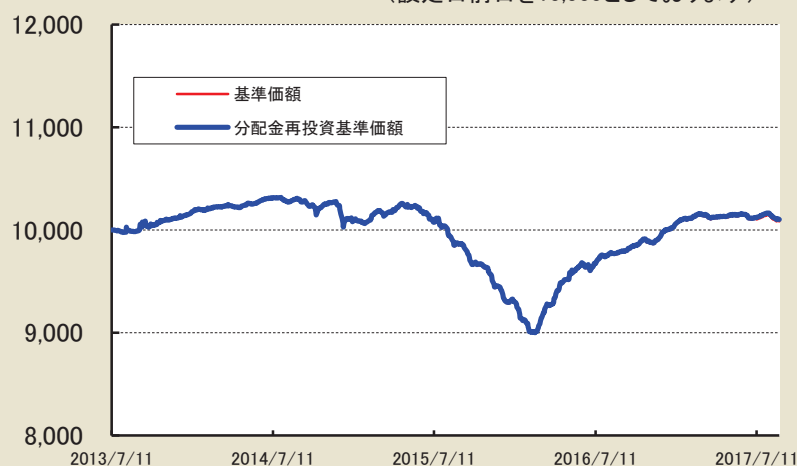
新光バンクローン・ファンド・ネオ(円ヘッジ型)

設定日 2013年7月12日 決算日 原則 7月11日
 ※現在、新規買い付けのお申し込みは停止しております。

2017年8月31日現在

基準価額の推移(2013年7月12日～2017年8月31日)

(設定日前日を10,000としております)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配落後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

| 8月末 | 前月比 | 7月末 |
|----------|--------|----------|
| 10,083 円 | ▲0.5 % | 10,138 円 |

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

| | |
|-----|--------|
| 1か月 | ▲0.5 % |
| 3か月 | ▲0.4 % |
| 6か月 | ▲0.5 % |
| 1年 | 3.3 % |
| 3年 | ▲1.9 % |
| 5年 | — % |
| 設定来 | 1.0 % |

資産構成

| 内訳 | 8月末 | 7月末 |
|--|-----------|-----------|
| ウエスタン・アセット・バンクローン(オフショア)ファンド-JPYヘッジド・クラス | 97.0 % | 97.5 % |
| その他資産 | 3.0 % | 2.5 % |
| 純資産 | 1,939 百万円 | 1,989 百万円 |
| 元本 | 1,923 百万円 | 1,962 百万円 |

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

| | |
|---------|------|
| 2017年7月 | 10 円 |
| 2016年7月 | 0 円 |
| 2015年7月 | 10 円 |
| 2014年7月 | 0 円 |
| — | — 円 |
| — | — 円 |
| 設定来合計 | 20 円 |

ンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

運用経過および今後の運用方針

8月のバンクローン市場はおおむね横ばいとなりました。バンクローン市場の代表的なインデックスであるS&P/LSTALバレットジド・ローン・インデックスをみると、利息収入(インカム要因)はプラスに寄与した一方、価格(キャピタル要因)がマイナスに影響しました。

米国10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。物価上昇に対する慎重な見方や米国政治に対する不透明感の高まり、北朝鮮情勢の緊迫化などが低下要因となりました。

価格(キャピタル要因)については、エネルギーセクターや小売セクター関連銘柄がマイナスとなったことが下落要因となりました。

当ファンドは、ウエスタン・アセット・バンクローン(オフショア)ファンド-JPYヘッジド・クラス(以下「WAローン・ファンド」)に高位組み入れを行いました。

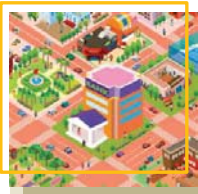
世界経済に関しては、底堅い景気が続いているとみられる米国がけん引役となり、緩やかながらも回復傾向が継続すると想定しています。

多くのバンクローンで支払利息水準決定の指標となるLIBOR(ロンドン銀行間取引金利)は1.3%程度を維持しております。割高感が窺える銘柄もありますが、追加の利上げが想定されるなか、今後も安定した利息収入が期待できることに加え、歴史的に低水準が続くデフォルト(企業の倒産)率やおおむね好調に推移している企業業績などを考慮すると、価格面でも底堅く推移すると想定されます。

WAローン・ファンドの運用会社であるウエスタン・アセット・マネジメントでは、格付け別ではB格、BB格を中心にし、セクター別では消費者関連セクター、通信セクターなどを中心としたポートフォリオを構築しました。今後は従来の方針を維持しつつ、バンクローン市場の動向や銘柄の選択を重視してパフォーマンスの向上を目指しています。

当ファンドでは、今後も運用方針に従い、WAローン・ファンドへの投資を基本方針としつつ市場の動向を見据えた柔軟な運用を行うことで、投資信託財産の成長を目指します。

※当資料は受益者を対象としてアセットマネジメントOne株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、勧誘資料でもありません。 ※当資料の運用実績・データ等はすべて過去のものであり、また、ファンドマネージャー コメントはあくまで作成時点での投資判断または話題や意見等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。 ※投資信託は、株式や債券など値動きのある証券等に投資しますので、これにより基準価額が上下し、投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式や債券などの発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化などにより、投資元本を割り込むことがあります。 ※投資信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。



新光バンクローン・ファンド・ネオ(円ヘッジ型)

『ウエスタン・アセット・バンクローン(オフショア)ファンド-JPYヘッジド・クラス』の内容は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが作成したデータをもとに記載しております。

2017年8月31日現在

『ウエスタン・アセット・バンクローン(オフショア)ファンド-JPYヘッジド・クラス』2017年8月31日現在の内容

資産構成

| | |
|--------|--------|
| バンクローン | 90.4 % |
| 債券 | 7.1 % |
| その他 | 0.0 % |
| 現金等 | 2.5 % |

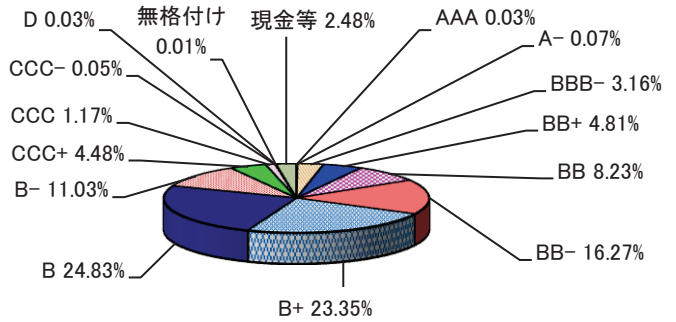
ポートフォリオの状況

| | |
|-----------|--------|
| 組入ローン数 | 233 銘柄 |
| 平均デュレーション | 0.42 年 |
| 最終利回り | 5.66 % |
| 直接利回り | 5.03 % |
| 平均信用格付け | B+ |

組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 比率 |
|---|--------|
| 1 SPRINT COMMUNICATIONS S TL B 1L USD | 1.17 % |
| 2 EIF CHANNELVIEW COGENERATION LLC | 1.06 % |
| 3 UNIVISION COMMUNICATIONS UVN TL C5 1L USD | 1.03 % |
| 4 JAGUAR HOLDING CO II PPDI TL 1L USD | 1.00 % |
| 5 VIRGIN MEDIA BRISTOL LLC VMED TL I 1L USD | 1.00 % |
| 6 REYNOLDS GROUP HOLDINGS REYNOL TL 1L USD | 1.00 % |
| 7 1011778 BC ULC BCULC TL B 1L USD | 0.93 % |
| 8 ABC SUPPLY CO INC ABCSUP TL B1 1L USD | 0.93 % |
| 9 CROSSMARK HOLDINGS INC CROSHO TL 1L USD | 0.90 % |
| 10 BRICKMAN GROUP HOLDINGS BRKMAN TL B 1L USD | 0.89 % |

信用格付け比率



組入上位10業種

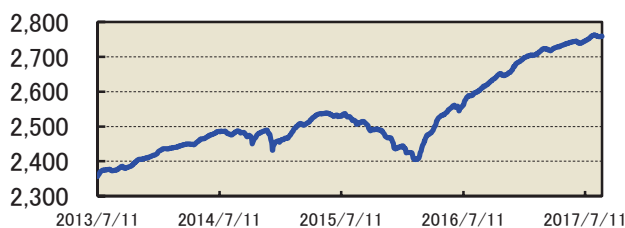
| 業種名 | 比率 |
|----------|---------|
| 1 消費者循環 | 25.56 % |
| 2 消費者非循環 | 20.91 % |
| 3 通信 | 13.18 % |
| 4 一般資本財 | 9.36 % |
| 5 テクノロジー | 6.12 % |
| 6 輸送 | 5.03 % |
| 7 公益 電力 | 4.57 % |
| 8 エネルギー | 4.11 % |
| 9 産業その他 | 3.45 % |
| 10 基幹産業 | 1.42 % |

- ・ポートフォリオの状況は組入ローンを100%として計算したものです。
- ・ポートフォリオの状況の最終利回りについては、キャッシュを含めたものです。最終利回りは、投資対象資産の特性を理解していただくために表示しており、当ファンドへの投資で得られる「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ポートフォリオの状況の平均信用格付けは、S&Pグローバル・レーティングの信用格付けを記載しております。
- ・比率は、ウエスタン・アセット・バンクローン(オフショア)ファンド-JPYヘッジド・クラスの純資産総額に対する割合。
- ・比率は、各項目ごとに四捨五入しておりますので、合計と合わない場合があります。
- ・信用格付け比率は、S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、フィッチのうち最も低い信用格付けを採用し、S&Pグローバル・レーティングの表記方法で記載しています。信用格付けが無い場合は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが同等の信用度を有すると判断した信用格付けによります。
- ・業種はウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーの分類規定に基づいています。同規定に従い、同一銘柄においても業種が変更される場合があります。
- ・上記グラフおよび数値は、過去の実績を示したものであり、将来の動向や当ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

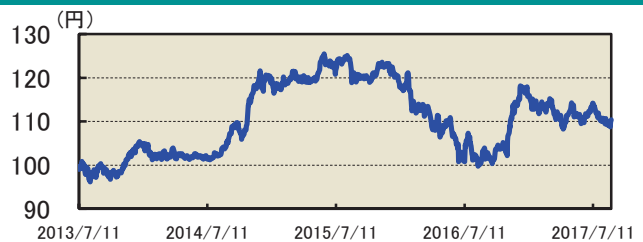
(ご参考)

下記のグラフデータはすべて過去のものであり、表示している指数、通貨、および当ファンドの将来の利回りや値動きを示唆・保証するものではありません。また、表示している指数は変更になる場合があります。

S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスの推移(設定来)



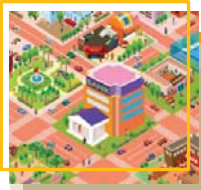
為替(ドル/円)の推移(設定来)



- ・S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、米ドル建てのバンクローンを対象として、S&Pが定める一定の条件を満たしている銘柄によって構成される指数です。当ファンドの参考指標等ではありません。
- ・上記の指数は、S&Pの知的財産です。S&Pは、同指数の算出、公表、利用などに関する一切の権利を有しております。S&Pは、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

出所 S&P Capital IQ / LCD、三菱東京UFJ銀行のデータを基にアセットマネジメントOneが作成しています。

※当資料は受益者を対象としてアセットマネジメントOne株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、勧誘資料でもありません。 ※当資料の運用実績・データ等はすべて過去のものであり、また、ファンドマネージャーコメントはあくまで作成時点での投資判断または話題や意見等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。 ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。 ※投資信託は、株式や債券など値動きのある証券等に投資しますので、これにより基準価額が上下し、投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式や債券などの発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化などにより、投資元本を割り込むことがあります。 ※投資信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。



新光バンクローン・ファンド・ネオ(円ヘッジ型)

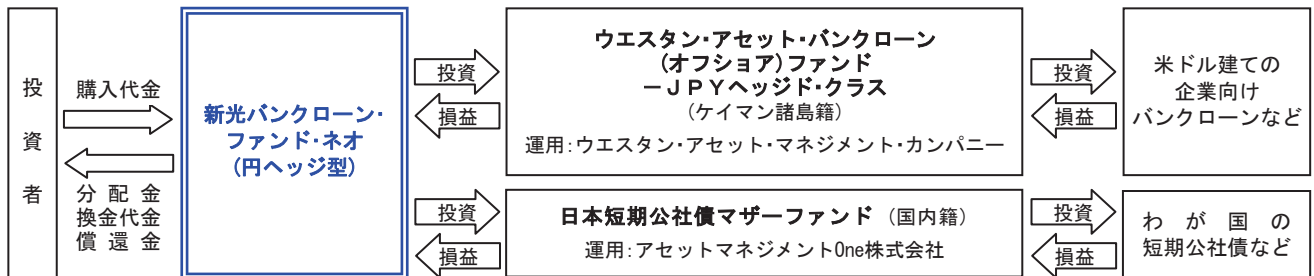
当ファンドは、外国投資信託を通じて、主として外貨建てのバンクローン(貸付債権)に投資します。実質的に組み入れた資産の値動きや信用状況の変化、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色

1. 主として米ドル建ての企業向けバンクローン(貸付債権)に実質的な投資を行います。

◆ケイマン諸島籍の外国投資信託「ウエスタン・アセット・バンクローン(オフショア)ファンドーJPYヘッジド・クラス(以下「WAローン・ファンド」という場合があります。)」円建受益証券(運用:ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー)と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券(運用:アセットマネジメントOne株式会社)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。

※WAローン・ファンドでは、資産の一部を高利回り社債(ハイイールド債券)などに投資することができます。



◆各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、WAローン・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

バンクローン

・企業が資金を調達する手段である融資(ローン)の一つで、単独の銀行が審査を行って企業に資金を貸し出す「銀行融資」とは異なり、銀行などの複数の金融機関が同一の契約によって協調して企業に資金を貸し出す仕組みの融資(シンジケート・ローン)です。また一般に、バンクローンには担保が付いています。

※当ファンドにおけるバンクローンとは、主に米国市場で取引されるバンクローンを指します。

・バンクローンは、借り手企業の信用力によって投資適格と非投資適格の二つの種類に分類されます。一般に、非投資適格のローンは銀行などの転売によりバンクローン市場で活発に売買が行われており、投資家は市場を通してこれらの非投資適格のローンに投資を行います。

2. 原則として、実質的に対円を為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図ります。

当ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

3. 原則として、年1回(毎年7月11日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

◆分配金額は、上記分配対象収益範囲のうち原則として利子・配当等収益を中心に、基準価額水準などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

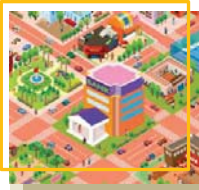
◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

◎投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

◎分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

◎投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



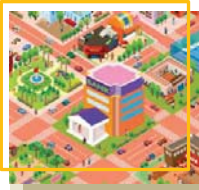
新光バンクローン・ファンド・ネオ(円ヘッジ型)

ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある資産に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に実質的に投資した場合、為替相場の変動などの影響も受けます。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

| | |
|-------------------|--|
| 信用リスク | 公社債など(バンクローン含む。以下同じ。)の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落し、時には無価値になることもあります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。特に当ファンドにおいては実質的な主要投資対象であるバンクローンの格付けが低いため、投資適格の公社債などに投資する場合と比較して、信用リスクが高くなります。 |
| 流動性リスク | 有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。当ファンドが実質的に投資対象とするバンクローンは、一般に市場における流動性が相対的に低いため、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があります。 |
| 金利変動リスク | 公社債などの価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債などの価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 |
| カントリーリスク | 投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 |
| 為替変動リスク | 外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。なお、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託では原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、円と投資対象通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。為替ヘッジを行うにあたり、円金利が当該通貨の金利より低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。 |
| 特定の投資信託証券に投資するリスク | 当ファンドが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。 |

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。



新光バンクローン・ファンド・ネオ(円ヘッジ型)

お申込みメモ

みずほ証券株式会社では、現在、新規買い付けのお申し込みは停止しております。

| | |
|----------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／その他資産(バンクローン) |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金 | 原則として換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。 |
| 換金制限 | 投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。 |
| 換金申込不可日 | 以下に定める日には、換金のお申し込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日 ・ケイマンの銀行の休業日 |
| 換金申込受付の中止及び取消し | 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金のお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた換金のお申し込みを取り消す場合があります。 |
| 信託期間 | 2023年7月11日まで(2013年7月12日設定) |
| 繰上償還 | 当ファンドの受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。また、当ファンドが主要投資対象とするWAローン・ファンドが償還した場合または商品の同一性が失われた場合は、当ファンドを繰上償還します。 |
| 決算日 | 毎年7月11日(休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | 年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。 |
| 課税関係 | 収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。 |

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

換金時 信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

| | | |
|-------|--------------|---|
| 保有期間中 | 運用管理費用(信託報酬) | 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に対して年率 1.1614%(税抜1.115%)程度 となります。 (上記は、WAローン・ファンドを100%組み入れた場合の信託報酬の総額を示しています。) ・当ファンド:年率0.6264%(税抜0.58%) ・WAローン・ファンド:年率0.535%程度 ・日本短期公社債マザーファンド:ありません。 WAローン・ファンドの信託報酬には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社兼管理事務代行会社、保管受託銀行ならびに副管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額が設定されているものがあるため、取引頻度などにより上記料率を上回る場合があります。 |
| | その他の費用・手数料 | 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。また、WAローン・ファンドにおいても、有価証券などの売買手数料、監査報酬、弁護士費用および登録機関兼名義書換代理人費用、金利、当初設定にかかる諸費用などがかります。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。 |

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認いただけます。

委託会社、その他の関係法人

■委託会社: アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
ファンドの運用の指図などを行います。

■受託会社: みずほ信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。

■販売会社: みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。